

春の植物観察会

団地の中の樹木や草花にも驚きがいっぱいです
さあ、どんな花が咲いているでしょう！

日時 ; 4月19日(日)10時より

管理事務所前にお集まりください

(当日雨天の場合は4月26日に順延します)



当日は法面を歩きますので、身軽な服装、足を固定できる靴でお越しください

植栽管理委員会

春季植物観察会 目次

〔1. 高木・中木〕		1	ページ	
カシ類	-----	1	タブノキ	----- 5
アラカシ	-----		トチノキ	----- 6
シラカシ	-----		ナナカマド	----- 6
クスノキ	-----	1	ハナミズキ	----- 7
クヌギ	-----	2	モミジ類	----- 8
ゲッケイジュ	-----	3	イロハモミジ	-----
ケヤキ	-----	3	オオモミジ	-----
シデ類	-----	4	ヤマモミジ	-----
アカシデ	-----	4	ヤナギ(シダレヤナギ)	----- 9
イヌシデ	-----	4	ヤマボウシ	----- 9
〔2. 低木〕		10	ページ	
アオキ	-----	10	ツバキ	----- 15
アセビ	-----	10	不明種	----- 15
クサボケ	-----	11	ドウダンツツジ	----- 16
コデマリ	-----	11	ニシキギ	----- 17
サツキ	-----	11	ノイバラ	----- 17
サンショウ	-----	12	ヒイラギナンテン	----- 17
シャクナゲ	-----	13	ブルーベリー	----- 18
セイヨウイワナンテン	-----	14	ベニカナメモチ	----- 18
ツツジ類	-----	14	モクレン(シモクレン)	----- 19
オオムラサキツツジ	-----	14	ヤマブキ	----- 19
ヒラドツツジ	-----	14	ユキヤナギ	----- 20
ミツバツツジ	-----	14	レンギョウ	----- 20
モチツツジ(花車)	-----	14		
不明種	-----	14		
〔3. つる性木本〕		21	ページ	
フジ	-----	21		
〔4. 草花編(野草、園芸種等)〕		22	ページ	
アカバナ	-----	22	スズメノヤリ	----- 26
アメリカフウロ	-----	22	タチツボスミレ	----- 26
アヤメ	-----	22	タツナミソウ	----- 26
エビネ	-----	22	タネツケバナ	----- 26
オオイヌノフグリ	-----	22	タンポポ	----- 26
オニタビラコ	-----	22	チガヤ	----- 26
オランダミミナグサ	-----	23	ツルニチニチソウ	----- 27
カタバミ	-----	23	トキワツユクサ	----- 27
イモカタバミ	-----	23	ドクダミ	----- 27
ムラサキカタバミ	-----	23	ナズナ	----- 27
カラスノエンドウ	-----	23	ニガナ	----- 27
キュウリグサ	-----	23	ニワゼキショウ	----- 27
キランソウ	-----	24	ハコベ	----- 28
クリスマスローズ	-----	24	ハナニラ	----- 28
コバンソウ	-----	24	ハハコグサ	----- 28
ジシバリ	-----	24	ハルジオン	----- 28
シシリンチウム	-----	24	ヒメオドリコソウ	----- 28
シャガ	-----	25	フキ、フキノトウ	----- 29
ジュウニヒトエ	-----	30	ホトケノザ	----- 28
シュンラン	-----	25	ムラサキケマン	----- 29
シラン	-----	25	ヤエムグラ	----- 29
スイセン	-----	25	ユキノシタ	----- 29
スイバ	-----	25		
〔5. シダ植物〕		30	ページ	
スギナ	-----	30	ゼンマイ	----- 30

【1. 高木・中木】

(カシ類) ブナ科、常緑高木 花期；4～5月、果実；秋 場所；東法面、北法面 (14 4/25)



アラカシ 葉の表は濃い緑色で光沢、ちょっとごつい感じ



シラカシ 葉の表は緑色で光沢、ととのった感じ

クスノキ クスノキ科、常緑高木 花期；5～6月、果実；10～11月
場所；中央広場西端、管理棟北側、1号棟南入口横



(上左) 開花直前 14 5/9 (上右) 開花 5/16

(下) クスノキの葉は光沢を帯びている 5/13

樹皮は防虫剤の樟脳の原料、葉を取り、折って匂いをかぐと樟脳の匂いがする。また、開花時に側を通ると、ちょっと青臭いような、芳しいような香りが漂う。

春季植物観察会【 高中木編 】



(左) 中央広場、(中) 1号棟のクスノキ

(右) 4月下旬頃、イトーヨーカ堂前の通路に落ち葉が見られる（一般に常緑樹の落葉は晩春～初夏）

クヌギ ブナ科、落葉高木 花期；4～5月、果実；翌年の秋に熟す 場所；北法面や北三角地など



8号棟北側のクヌギ、樹高25mほども伸び、一番高い木。(上右) 木の先の方で茶色に見える部分が花 (14 4/19)、

(上左) 初めは花がこんな風に垂れてくる (14 4/11)

(上左) 数日で花が茶色に、尾状に垂れ下がってくる (14 4/19)

ゲッケイジュ クスノキ科、常緑高木 花期；4月、果実；10月 場所；6号棟東側、北進入路の北東角付近。 葉や果実に芳香がある。葉はローリエとも呼ばれ、料理のスパイスとして利用される。



北東角のゲッケイジュは寸止めされているので、花を観察しやすい。枝いっぱい丸い総のような花も、近寄って見ると、小さな花が集まって付いているのが分かる。(14 4/13)

ケヤキ ニレ科、落葉高木 花期；4月、果実；10月 場所；中央広場、北法面 8号棟付近など 多摩センター駅周辺や新都市センタービル付近にもある。



(上右) 4月初めには枝にびっしり雄花がつく(14 4/8)

(上左) 雄花 (4/15) (下左) 雌花 (4/24)

雄花は新枝の下部に数個ずつ集まってつく。雌花は新枝の上部の葉腋に 1 個ずつつく。大木なのに、小粒の花なので分かりにくい。

春季植物観察会【 高中木編 】



(上) ケヤキの葉と多摩センター駅のケヤキ (14 4/15)
前ページの花もペDESTリアンデッキから撮ったもの。

(右) 管理事務所前のケヤキ (4/8)

ゾウの足のような幹、箒を逆さにしたような木の様子が特徴。

〔 シデ類 〕 カバノキ科、落葉高木 花期；4~5月、果実；8~9月頃に熟す



アカシデ 果実は8~9月頃に熟す 場所；2号棟南側、中央広場など (上写真) 14 4/1 中央広場



イヌシデ 果実は10月頃に熟す 場所；6号棟西、8号棟北、1号棟北側駐車場の北側など
(上写真) 14 4/1 6号棟西

図鑑には、雄花序はともに「黄褐色」と書かれているが、アカシデは褐色が強く、イヌシデは緑がかって見える。ただし日数が経てば同じ様に茶色がかってくる。(日当たりのためか?)

シデとは「四手」、あるいは「紙垂」とも書き、玉串やしめ縄につけて垂らす特殊な形に断ち折った紙のことで、果穂の姿をこれに見立てたもの。 (右) アカシデの実 (5/11)



タブノキ クスノキ科、常緑高木 花期；4~5月、果実；7~8月 場所；東法面

葉は枝先に集まってつくのが特徴。東法面でもっともどっしりとした巨木。花は東駐車場から見る事ができる。



タブノキの開花までの様子。

(上左) 14 4/1 つぼみ

(上中・右) 4/17 花芽の展開

(中左右/下右) 5/2 開花、5 弁の小さな花の集まり



春季植物観察会【 高中木編 】

トチノキ トチノキ科、落葉高木 花期；5～6月、果実；9月に熟す 場所；北広場、南広場



(写真・全) 14 5/2 北広場のトチノキ
雌雄同株だが、北広場で花がつくのはこの木のみ

「ほとんどが雄花で、両性花は花序の下部につく」と説明されているが、拡大しても区別がつかない。所々淡紅色を帯びているのが花柱かもしれない。

ナナカマド バラ科、落葉高木 花期；5～7月、果実；9～10月 場所；中央広場



北広場のナナカマド (14 4/24)

春季植物観察会【 高中木編 】

花を拡大して見ると、5弁の小さな花の集まり

シンボルゾーンの整備の一環で、秋の紅葉や果実の美しい木として中央広場に植えられた。しかし、花は咲いたが、小鳥に食べられたか、実はならなかった。

名前の由来は、材が燃えにくく、7度かまどに入れても燃え残ることから名付けられたという。



ハナミズキ ミズキ科、落葉中木 花期；4月中下旬 場所；1号棟南東、8～10号棟南側、5号棟南側

桜の並木をワシントン市に贈った返礼として、大正4年に日本にもたらされた。花はサクラと入れ替わるようにして咲き、秋には紅葉が楽しめる。



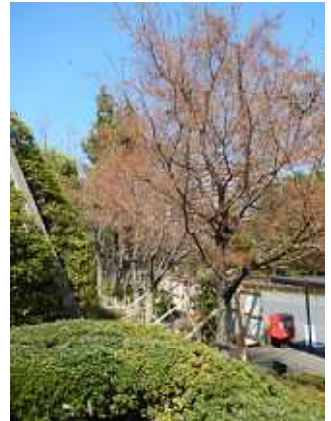
(上左) 赤 14 4/17 (上右) 白 4/13 (下左) 8号棟南 4/24 (下右) 中央広場 4/29

花のように見えるのは葉が変形した苞(ほう)で、小さな花序(かじょ)を包んでいる。

春季植物観察会【 高中木編 】

(モミジ類) カエデ科、落葉高木 花期；4~5月、果実；7~9月頃
当団地にはイロハモミジ、オオモミジ、ヤマモミジがある。

以下に、それぞれのつぼみ(4月上旬)、花(4月下旬)、果実(5月中



旬)を示す

イロハモミジ；つぼみ(4/7)、果実(5/13) 東法面バス停付近(4/7)



オオモミジ；つぼみ(4/7)、花(4/25)、北進入路脇(4/25)



ヤマモミジ；花(4/24)、果実(5/14)、中央広場(4/24)

ヤナギ(シダレヤナギ) ヤナギ科、落葉高木 花期；3～4月、果実；5月 場所、東法面南部、



枝枯れしているが、まだ花はつける。27年度伐採予定なので、要一見。写真は2015 4/2

ヤマボウシ ミズキ科、落葉高木 花期；5～7月、果実；9～10月 場所は中央広場と6号棟南側



(上左) 14 5/20 (上右) 5/13 (右) 中央広場 (5/16)

球状に集まって咲く花の外側に、先のとがった4枚の白い総苞(そうほう)が花びらのように見える。中央の黄緑色の小さな花のかたまりを僧兵の頭に、白い総苞を頭巾に見立てたのが名前の由来。

ヤマボウシの花は(上左)のようなのが一般的、(上右)の様になるのはこの木以外に見た事が無い。種類が違うのかどうか？



〔 2 . 低木 〕

アオキ ミズキ科、常緑低木、雌雄異株 花期；3～5月、果実；12～5月 場所；団地内随所



日陰でもつややかな緑が楽しめる、日本の風土にあった庭木の代表。

雌雄異株で、雌株は初冬に深紅色の実をつける。ただし、今のところ雄花しか見つけていない。

(写真) アオキとアオキの雄花。(14 4/11) 北進入路脇

アセビ(馬酔木) ツツジ科、常緑低木 花期；2月下旬～5月、果実；9～10月 場所；北法面など
早春、スズランに似た、丸みを帯びた壺状の花を、枝にびっしりと咲かせる姿が印象的。



全体に有毒成分が含まれ、馬が葉を食べるとしびれて動けなくなることが名前の由来。

(上) 14 3/28 (右上下) 4/7 8号棟北側

クサボケ バラ科、落葉小低木 花期；4～5月、
果実；9～10月 場所；東法面バス停裏

ボケは落葉低木で高さが2mほどになるが、こちらはボケに似
ていて、高さ30～100cmの小型の低木なので草の名がついた。
花が可愛らしい。(写真)14/3/28

実は直径3～4cmのゆがんだ球形で、果肉はかたく、渋くて
酸味があるとのこと(未確認)。



コデマリ バラ科、落葉低木 花期；4～5月、果実；6～8月 場所；6号棟東側

4～5月に真っ白な小花が15～20輪くらい、毛毯のようにかたまって咲く。株立ち状で、枝先には花
がびっしりと付き、弓なりに垂れ下がる。



(写真)14/4/27 6号棟東側

サツキ ツツジ科、半常緑低木 花期；5～7月、果実；9～12月 場所；居住区、法面の随所

ツツジの園芸品種のサツキ全体をさす。開花時期が陰暦の5月(皐月)であることからこの名がある。
江戸時代以来交配により変化に富んだ品種が生まれた。現在はさらに多様な品種が生まれ、2000種をこ
える品種があるという。

以前紹介したが、正月前後の真赤に染まった紅葉も美しい。

春季植物観察会【 低木編 】



(上左) 2号棟前、(上右)バス停裏、(下左)団地正面入り口脇 (14 4/17)、(下中)防火水槽、(下右)東法面 (4/25)

サンショウ ミカン科、落葉低木 花期；4～5月、果実；9～10月 場所；居住区、北法面各所
古くから香辛料や漢方薬として利用されてきた、芳香と薬効のある樹木。



(右) 法面北東角のサンショウ。向かって右は雌、左が雄
(左上) 雌花、(左下) 雄花 (14 4/26)

春季植物観察会【 低木編 】

サンショウは雌雄別株。法面北東角は雌雄、8号棟北に雄、10号棟北に雌、2、6号棟に雌の樹がある。雌の新葉には、主脈にかすかに白みがかかるようだ。下左が雌の葉、右が雄の葉 (14 4/26)



シャクナゲ ツツジ科、常緑低木 花期；4～6月、果実；7～10月 場所；法面随所



シャクナゲはツツジ属のうち、シャクナゲ亜属のものの総称。日本に自生する日本シャクナゲと、ヨーロッパで改良された西洋シャクナゲがあり、一般の園芸品種は、栽培・管理の容易な西洋シャクナゲがほとんどとのこと。当地に植えられているのはどちらなのか、判別基準が分からない。

(写真) 東法面のシャクナゲ (14 5/2)

春季植物観察会【 低木編 】

セイヨウイワナンテン ツツジ科、常緑低木 花期；4月後半～5月前半 場所；東法面北部 (HP)

北アメリカ原産、アセビに似た花だが、地味な感じで目立たない。20年ほど前だったか、多摩市からの無料苗木で植えたものが数本残っている。(写真) 東法面北部のセイヨウイワナンテン (14/4/26)



ツツジ類 ツツジ科、常緑または落葉、低木 花期；4～6月

万葉集にもツツジが詠まれており、古くから日本の春の代表的な花木。花色は紅や白、橙色などさまざまな品種がある。



オオムラサキツツジ 常緑性、居住区随所、バス停付近の緑化ブロック (14/4/24)



ヒラドツツジ 常緑性、南広場など (4/26)

ミツバツツジ 落葉性、東法面、中央広場 (4/8)



モチツツジ（花車） 北法面 10 号棟付近 (4/26) 不明種 北東法面擁壁 (5/21)

ツバキ ツバキ科、常緑中木～高木 花期；11～12月、または2～4月(ヤブツバキ)

ツバキは日本の代表的な花木。もとは日本に自生するヤブツバキとユキツバキの2系統。自然交雑や人工交配によって、多くの園芸品種が生みだされた。江戸時代にはすでに200種、明治時代には海外へ紹介され、カメラアと呼ばれ、さらに品種改良され、現在では1000種以上とのこと。咲く時期も品種により異なる。 (写真) 14 3/28 北広場



不明種 3～4号棟の通路側、7号棟北側など。矮性でつぼみも小粒、葉には鋸歯がある。冬の間から低木全体にピンクをおびた小さいつぼみが付いていた。3月下旬には一斉に開花して、低木全体を花で覆っている。この品種不明。いくら調べても分からない。中国の原種に近いが。



(左) 15 1/2
冬の間は開きかけたまま、2月にはぼちぼち開きかけたが



(右) 3月半ばでもまだこの状態 3/12



3月下旬には一斉に咲き始めた。
(写真・左右) 3/24 7号棟北



(2/16) 3-4号棟東

白色の種類もあるが、赤は八重で、白は一重。
種類がどう違うのかは不明。



ドウダンツツジ (満天星躑躅) ツツジ科、落葉低木 花期；4~5月、果実；7~10月
場所；8~10号棟南、北東法面等

4月、葉とともに1センチ位の壺状の白色花を枝先につける。新緑の葉影に白い小花が輝くように咲くさまは、まさに和名の「満天星(どうだん)」そのもの。ただし、残念ながら常に剪定整備されているので花付きは悪い。



(写真・上) 14 4/17

春季植物観察会【 低木編 】

ニシキギ ニシキギ科、落葉低木 花期；5～6月、果実；10～11月

場所；中央広場、7号棟東のゴミ置き場、1号棟北駐車場と進入路の間

和名は、秋の紅葉が錦のように美しいことからつけられた。美しい紅葉に目がいても、その花はまず意識されることが無い。まことに地味な花である。 (14 5/13) 7号棟東



ノイバラ バラ科、落葉低木 花期；5～6月、果実；9～11月 場所；東法面北部の歩道際

花は香りがよいので香水の原料に利用され、果実は利尿剤などの薬用になる。ただし、生えている場所は歩道際の段差の上なので、足を踏み外さないように要注意。



(写真) 14 5/13 法面北東角

ヒイラギナンテン メギ科、常緑低木 花期；3～4月、果実；6～7月 場所；居住区、北法面随所

中国原産種で観賞用として広く栽培されている。日向にも日陰にも強く、葉色は日向では黄赤色、日陰では濃緑色になる。「ナンテン」と名がついているが、こちらは紫黒色の丸い実である。葉の縁には先端が針状の粗い鋸歯(トゲ)があるので要注意。花は3月下旬頃が盛りで、4月上旬現在、花は終わりがかけている。

(次ページ写真) 14 3/23 北法面



ブルーベリー ツツジ科、落葉低木 花期；4～6月、果実；7～8月 場所；東法面中ほど

4～6月、ドウダンツツジに似た小花を開き、初夏にかけて黄緑色から赤、青紫色へと成熟する実をつける。実は甘酸っぱいさわやかな味で、アントシアンという青紫の色素成分は、目の疲れに効果がある。 (写真) 14 4/26



ベニカナメモチ(参考) バラ科、常緑中木 花期；5～6月 場所；居住区生垣

居住区の生垣は春に若葉が赤く伸びてくる。花は5～6月頃に咲くようだが未確認。



(写真)
14 4/11
北広場

私は「カナメモチの若葉が赤いので、通称ベニカナメという」のかと思っていたが、品種が違うようだ。図鑑には、「カナメモチ、別名アカメモチ。生垣に使われるのは、カナメモチとオオカナメモチの雑種でレッドロビンという品種」とのこと。インターネットには、ベニカナメモチを前者の一般名としたり、後者の別称としたりで、いずれが正か私には区別がつかない。我々はベニカナメと呼んでいる。

カナメモチの名の由来は、「モチノキに似ていて、材質が固く、扇の要(カナメ)に使われたから」との説。

モクレン (シモクレン) モクレン科、落葉低木 花期；3~4月、果実；9~10月 場所；8号棟東
早春に葉が出る前に樹冠いっぱい花を咲かせる、春の代表的な花木。モクレンとはシモクレンを指し、樹高3~4mで赤紫の花をつける。(ハクモクレンは4号棟西側の生垣内にある)



欧米ではモクレン属(コブシ、タイサンボクを含む)の仲間をマグノリアと呼ぶが、マグノリアは1億年以上も前から地球上に存在していた、花木類の重要な祖先。(写真左) 14 4/13 (右) 4/11

ヤマブキ バラ科、落葉低木 花期；4~5月、果実；9月頃 場所；東法面など、八重咲きは8号棟北
鮮やかな花色が印象的。万葉の時代から愛されてきた花木。

名前の由来；古くは山振という字があてられていた。しなやかな枝が風に揺れる様子から名付けられたという。(写真) 14 4/8 東法面南部



春季植物観察会【 低木編 】

ユキヤナギ バラ科、落葉低木 花期；4月、果実；5~6月頃 場所；居住区、法面随所

3~4月に、直径5mmほどの真っ白な小花が枝いっぱいに一斉に開花する。弓なりの枝に咲くその様子はまるで雪が積もっているようで、また、その葉の形がヤナギに似ていることから「ユキヤナギ」と名付けられた。
(写真) 14 3/28 1号棟南



レンギョウ モクセイ科、落葉低木 花期；3~4月、場所；中央広場、居住区随所、北法面北東部など

3~4月、葉より先に黄色の花を株全体につけ、その華やかさが人目を引く。丈夫な性質で、挿し木で簡単に増やすことができる。



(写真左) 14 4/2 北法面北東部のレンギョウ

類似種にシナレンギョウがあり、4月、葉とともに黄色の花が下向きに咲く。裂片はレンギョウより細く、葉も長楕円形で細めとのこと。写真で改めて比べると、北法面北東部の側溝沿いに植えられたのはレンギョウ、中央広場のはシナレンギョウのようだ。

(写真・下左右) 14 4/8 中央広場のシナレンギョウ



〔 3 . つる性木本 〕

フジ マメ科、つる性の落葉木本 花期；5月、果実；10～12月頃 場所；北広場砂場の藤棚



フジは元来、寿命が長く、垂れ下がる花房の豪華さとあいまって、めでたい木とされてきた。古来、山野に生えていたフジは、万葉集に詠まれたり、様々な意匠にも数多く表されている。

ここのフジは、居住区随所に生えたものを移植したもの。 (写真) 14 4/24 北広場砂場

(4. 草花 (野草、園芸種等))



アカバナ (14 5/17 7号棟西) アヤメ (14 4/24 8号棟南) エビネ (14 5/2 8号棟北法面)



アメリカフウロ (15 4/6 東駐車場)

(参考) ゲンノショウコの葉 (14 4/2 東法面)



オオイヌノフグリ (15 3/29)

オニタビラコ (14 4/8)

春季植物観察会【草花編】



オランダミミナグサ (14 3/28)



カタバミ (14 4/26)



イモカタバミ (14 5/17)



ムラサキカタバミ (14 5/20)



カラスノエンドウ (14 4/8)



キュウリグサ (15 4/6 東駐車場)

春季植物観察会【草花編】



キランソウ (14 4/8)



コバンソウ (14 5/19 旧わんにゃん、警察陸橋の先)



クリスマスローズ (15 3/24 2号棟南)



ジシバリ (14 5/13)



シシリンチウム (14 5/30 8-9号棟間北法面)

春季植物観察会【草花編】



シャガ (14 4/19 北法面)



シュンラン (15 4/2 1号棟北と進入路の間)



シラン (14 5/26 北法面)



スイバ (15 4/9 東駐車場)



スイセン (上) ティタティタ 14 3/16
(右) 日本スイセン 14 4/7 東法面、北法面等



春季植物観察会【草花編】



スズメノヤリ (15 4/2 北法面等)



タチツボスミレ (14 4/19 北法面、東法面)



タツナミソウ (14 5/2)



(右)
タネツケバナ
(14 3/28)



タンポポ (セイヨウタンポポ 15 3/29)



チガヤ (14 5/19 旧わんにゃん跡地)

春季植物観察会【草花編】



ツルニチニチソウ (14 4/17 2号棟)



トキワツユクサ (14 5/28 居住区生垣の根元等)



ドクダミ (14 5/30)



(右)
ナズナ
(14 3/28)



ニガナ (14 5/14)



ニワゼキショウ (14 5/16)



ハコベ (14 3/28)



ハナニラ (14 3/23)



ハハコグサ (15 4/2)



ハルジオン (14 5/13)



ヒメオドリコソウ (15 3/24)

(右)
ホトケノザ
(14 3/28)



春季植物観察会【草花編】



フキ (14 4/17)



(参考)フキノトウ (14 3/6)



(左) ムラサキケマン (14 4/19)

(上) ヤエムグラ (15 4/2) (上右) ヤエムグラの花



ユキノシタ (14 5/30 8~9号棟間北法面)



右はユキノシタの新芽 (15 4/2)

〔 5 . シダ植物 〕



(上) スギナ (14 4/11 Brillia 南市道、東駐車場)



(右) ゼンマイ (15 4/2 北法面)



【追加】ジュウニヒトエ(十二単)と花部分の拡大
(15 4/16 中央広場)

今回は観察会前にほとんど花期が終わる種類は省略し、観察会およびその後5月にかけて見られる花を集めました。

【参考書】

- 葉っぱ・花・樹皮でわかる樹木図鑑 池田書店
- 大人の園芸 庭木・花木・果樹 小学館
- 山溪ハンディ図鑑1 野に咲く花 山と溪谷社
- 山溪ハンディ図鑑3 樹に咲く花 離弁花1 山と溪谷社
- 山溪ハンディ図鑑4 樹に咲く花 離弁花2 山と溪谷社
- 山溪ハンディ図鑑5 樹に咲く花 合弁花・単子葉・裸子植物 山と溪谷社

(写真・文 石川)

	観察できる花	これからの花	すでに終わった花	備考
中央広場	ケヤキ	カマツカ	アカシデ	ケヤキは駅前で観察できる
	オオモミジ	ナナカマド		
	ジュウニヒトエ	クスノキ		陸橋から観察できる
	イモカタバミ			
	ヒメオドリコソウ			
	オオイヌノフグリ			
	スズメノヤリ			
	ホタルブクロの新芽			
7-ゴミ置き場		ニシキギ		
1号棟	ベニカナメの新芽			
7号棟	ヒメツバキ(仮)			
8号棟・南	ハナミズキ			
	モクレン			
	ハナニラ			
	アヤメ			
	ドウダンツツジ			
北広場	オオムラサキツツジ			
	ベニカナメの新芽	トチノキ		
6号棟	サンショウ	コデマリ		
7号棟・西		アカバナ		
中央広場	シナレンギョウ	ハナミズキ	アカシデ	
5号棟	ヒイラギナンテン		ヒュウガミズキ	
	トキワツユクサ			
2号棟・北	ツルニチニチソウ		アカシデ	
2号棟・南	クリスマスローズ		コブシ	
	ツルニチニチソウ			
	ハナニラ			
	サツキ			
東駐車場	タブノキ		シダレヤナギ	
	アメリカフウロ		ソメイヨシノ	
	キュウリグサ		エドヒガン	
	ツクシ・スギナ			
	スイバ			
東法面	イロハモミジ		ヒュウガミズキ	
	クサボケ		ハナモモ	
	ヤマブキ		ソメイヨシノ	
	シャクナゲ		エドヒガン	
	ゲンノショウコの葉		ブンゴウメ	
	フキ		ユスラウメ	
	ブルーベリー			
北東法面	セイヨウイワナンテン	ノイバラ	イヌシデ	
	サンショウ 雌雄		レンギョウ	
	アオキ			
	ゲッケイジュ			
北駐車場	ケヤキ		ソメイヨシノ	ケヤキは駅前で観察できる
三角地	シュンラン	ニシキギ	オオシマザクラ	
	シャクナゲ		コブシ	
北進入路	オオモミジ			
	アオキ			
8号棟・北	八重ヤマブキ	エビネ	イヌシデ	
	アセビ			
	ユキノシタの葉	シシリンチウム		
	タチツボスミレ	ムラサキケマン		
	ノビルの葉			
北法面	クヌギ		雪割草	
	ゼンマイ			